

令和4年度 第1回羽曳野市子ども読書活動推進委員会会議録（要録）

日 時： 令和5年3月7日(火) 14時00分～15時20分

場 所： 羽曳野市役所 A棟中・東会議室

出席者：(委員) 河津委員、菅谷委員、高崎委員、南里委員、森委員、脇谷委員

(教育委員会) 吉澤生涯学習室長、河野社会教育課主幹

(事務局) 宮下主幹、白江主査、細井再任用、岩佐再任用

欠席者： 奥川委員、金本委員、辻西委員、村尾委員

傍聴者： なし

次第

1.開会

生涯学習室長あいさつ（教育長メッセージ代読）

事務局より会議録作成のため会議を録音すること、会議の様子を写真撮影すること、WEB及び中央図書館で紙ベースで会議録を公開すること、会議が成立していることを報告

委員紹介、事務局紹介

2.議事

会長あいさつ

第3次羽曳野市子ども読書活動推進計画の進捗状況について

3.閉会

報告

第3次羽曳野市子ども読書活動推進計画の進捗状況について

進捗状況整理表により、まず子ども読書活動推進のための取り組みについて、1.家庭での読書活動の推進、2.地域での読書活動の推進、3.図書館での読書活動の推進、4.学校・園での読書活動の推進の各項目の順に、次に計画の進め方について、1.推進体制の整備、2.関係機関の連携の各項目の順に、続いて啓発・広報について、以上を関係課の回答を集約して事務局より報告した。

多言語の絵本の現物を数点紹介した。

意見等

- ・古市図書館の古市小学校の子どもたちの利用率は。

→統計はまだとっていないが多く（専用の）貸出申込書を図書館で受け取っており、次回にまとめさせていただきたい。

- ・4か月健診時にPRしている赤ちゃん絵本のプレゼントにはどれくらいの人が来たか。

→中央図書館だけだと月に数人くらい。

- ・本の修理入門講座を今年度実施しなかった理由は。

→新型コロナウイルス感染症の状況による。

- ・政府が異次元の少子化対策と言っている。何もしないと後退していく一方でいろいろとやって努力してくれていることはわかる。本当に有効か。例えば、保健センターでの絵本の読み聞かせだけでなく子育て支援をもっと積極的にできないか。（前職で）赤ちゃんのおはなし会をしたとき、思いのほかお

母さんが喜んでくれていた。お母さんがリラックスすると子どもにいい影響をあたえる。読み聞かせも図書館の子育て支援になると思った。本の提供だけでなく（状況報告にある離乳食の）講習会などを市役所（の部署）でやるより図書館でやったほうが普段いかない人も集まる。

- ・ホームページ等の PR は、徹底的にアクセス数の検証をする必要があると思う。
- ・ホームページ等で PR しているとあるが、スマホの子育て支援アプリで情報を提供しているところもある。読書だけでなく子育て支援をやっていくべきだと思う。
- ・いろいろとやってもらった結果として、学校での貸出数は増えているか。年齢別の貸出状況の変化といった基礎的データをおさえて、きめ細かい検証が必要。

→年度途中であり 1 月までのデータでは、年齢別統計は今、手元がない。児童書の（状況報告で説明した学級文庫などを除いた）個人への貸出は、令和 3 年度の 1 年間で 218,789 冊、今年度は 1 月までで 195,391 冊、これを 12 か月に換算すると 234,469 冊で、伸びると考えられる。令和 3 年度は 2 か月の休館期間があったため、単純に伸びているとは言えないが、それまで年々利用が減少していたことを思えば少なくとも下げ止まりの傾向が見受けられる。古市図書館では令和 3 年度 7,817 冊が今年度 1 月までで既に 8,496 冊で、年間では 2~3 割伸びる見込み。

→小中学校の子どもたちに支給されているタブレットで電子図書館にアクセスできる ID を配布した。本格的なスタートは令和 5 年度だが、アクセスを始めてもらっていて電子図書館の利用が増えている。先日の図書館協議会で質問のあった電子図書館の児童書として分類されている点数は、106 点だった。

→子育て世代のアプリの話があったが、新規導入した図書館アプリのダウンロード数は 2 月半ば時点で 836 件。もっと PR して利用を伸ばしていきたい。

→配布した読書手帳も今年度始めた取り組みで、一般用・児童用併せて 1,400 冊くらいを配布済み。児童用は感想文を書くスペースをとって子どもたちが書き込めるようにしている。

→イベントについて、例えば離乳食講習会を図書館でやっていいというご意見があった。各課と協力して新しいことをやっていきたい。

→取り組みについてどれくらい進んだかは、今後数字を出して説明したい。

- ・データは大事なので、事務局に出してもらって委員で検証していきたい。

- ・小学校には司書がいて頑張ってくれている。中高生には絶対に参加型でないといけない。中高生の読書会をやって結果を文集として出しているところもある。続けて「固定客」をつかんでいくことを考えてほしい。

- ・おすすめ本のリストも中高生を巻き込んでやってほしい。

- ・読書手帳について、子どもに例えば 25 冊読んだらプレゼントをあげる、ということをしているところがある。子どもはそういったことがうれしい。

- ・読書週間にシールをもらってうれしかった。

- ・古市（のイベント）も大盛況だった。目新しいことをすると来られるんだなと思った。ボランティアとして手伝えることはやっていきたい。

- ・古市の子育て支援センターにおはなしに行っているが結構な人数が来られる。最近お父さんも増えている。コロナが落ち着くとこれからも増えるのかなと思う。

- ・中央図書館のおはなし会を新型コロナウイルス感染症対策として 1 階部分でやったとき、子どもを連れのお父さんが立ち止まって聞いてくれた。（囲まれた部屋でなく）通り道だと気にかけていただける。

- ・4月からの（中央図書館の）おはなし会の場所は変わるのか。
→ボランティアのおはなし会はすでに多目的室でやっていただいているが、ご希望の場所でやっていただける。
- ・お父さん向けの読み聞かせ講座をしているところもある。
- ・古市小学校での市立図書館の利用申込書配布の話があったが、幼稚園ではどうか。幼稚園の子どもが図書館に行くとなると絶対に保護者も一緒に来る。スマホの利用が多くあまり活字になじみのない若いお母さんやお父さんが図書館を利用することにもなるのではないか。保護者を巻き込むと利用が広がるのではないか。
- ・子ども文庫でも本の有効利用を頑張りたい。
- ・子育てサロン等も再開されたらいろいろなところでPRできるのではないかと思う。